

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	07	01	02	174140	地域イノベーション戦略事業		
総合計画	分野 しごと						
	政策	1-5	農工商観連携の推進				
	施策	1	起業の推進				
目的	起業化と新事業展開						
対象	市内企業						
意図	起業と新事業の創出						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○ イノベーションスクールの開催 ・ 問題抽出及びその解決方法 ・ 新事業の実施における考え方、コンセプト設計及び価値相対評価の方法 ・ 個別コンサルティング ※ 概要 ・ オープニングセミナー 開催回数1回 参加者17人 ・ 視察研修 開催回数1回 参加者 2人 ・ 勉強会 開催回数3回 参加者10人 (のべ) ・ 企業訪問・コンサルティング 開催回数3回 ・ 発表会 開催回数1回 参加者 6人							
市民参画の有無 [対象外]							
市民協働の形態		共催		○ 実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		○ 補助・助成		委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①	ビジネスグランプリ応募数	件	計画		30		
			実績		0		
②			計画				
			実績				
③			計画				
			実績				
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①	市内企業連携による新規ビジネス支援件数	件	目標		2		
			実績		0		
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
当初、コンソーシアムの形成やビジネスアイデアグランプリの開催を通じ、新製品(サービス)の創出や新規・二次創業の活性化を図ることを目的としていたが、企業の技術力の向上や新規・二次創業者の発掘、育成が必要であることから、今回は、講習会等の開催に切り替えた上で事業を実施した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	関係機関等の連携体制を構築し、地域課題や市内企業が抱える課題の解決を図るためには、市の積極的な支援が必要である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	新規事業のため、事業実施結果をふまえて成果の向上余地について検討する必要がある。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の経費としている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内企業又は市内での創業を希望する事業所を対象としていることから、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
市内企業等の連携による企画開発・提案力の強化を図ることにより、新たな需要を捉えた製品やサービスの創出が図られることが期待される。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T*	事業名
一般	07	01	02	174140	地域イノベーション戦略事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			842		842
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		842		842

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
多様な産業の連携を促し、高い付加価値を生み出します。

事業開始の背景・経緯
産業振興と経済発展の強化を図るとともに、地域企業の育成と技術力向上等の支援を強化するため、外部団体の協力を得て、総合的に支援する必要があったため

事業概要
○ イノベーションスクールの開催
 ・ 問題抽出及びその解決方法
 ・ 新事業の実施における考え方、コンセプト設計及び価値相対評価の方法
 ・ 個別コンサルティング
 ※ 概要
 ・ オープニングセミナー 開催回数1回 参加者17人
 ・ 視察研修 開催回数1回 参加者 2人
 ・ 勉強会 開催回数3回 参加者10人 (のべ)
 ・ 企業訪問・コンサルティング 開催回数3回
 ・ 発表会 開催回数1回 参加者 6人

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市内の製造業は受託製造が多く、事業分野の拡大や新たな創業を積極的に図る事業者が少ない状況にあることから、新たな事業領域の拡大に向けた支援の仕組みの構築や、既存の事業者が抱える経営課題の解決、高い競争力の維持を図るための技術力・開発力の向上、新規創業を後押しする環境づくりが必要となっている。

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣 孝史 内線 388

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

地域イノベーション戦略事業

市内企業等の連携による企画開発・提案力の強化を図り、新たな需要を捉えた製品やサービスの創出を支援するとともに、産学官金連携による市内企業のビジネス戦略支援を強化する。

○ 花巻イノベーションスクールの開催 842千円

内 容	日	時	会 場	参加者
オープニングセミナー	平成29年2月10日	18:00 ~ 21:00	なはんプラザ	17
視察研修	平成29年3月3日	9:30 ~ 18:30	弘前市	2
勉強会	平成29年2月17日	18:00 ~ 21:00	なはんプラザ	3
	平成29年2月24日	18:00 ~ 21:00	なはんプラザ	5
	平成29年3月3日	9:30 ~ 18:30	視察研修移動車内	2
企業訪問 コンサルティング	平成29年2月11日	9:00 ~ 12:00	ありがとうりサイクル(株)	-
	平成29年2月18日	9:00 ~ 12:00	㈱マーマ食品	-
	平成29年3月24日	9:00 ~ 11:30	ありがとうりサイクル(株)	-
発表会	平成29年3月23日	18:00 ~ 21:00	なはんプラザ	6